

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	野村工務店新社屋新築計画	階数	地上6F
建設地	大阪府交野市星田	構造	S造
用途地域	一種住居地域、一種中高層住居地域	平均居住人員	56人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集合住宅,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年8月1日
敷地面積	1,748 m ²	作成者	STUDIOAK一級建築士事務所
建築面積	1,049 m ²	確認日	2022年8月4日
延床面積	3,392 m ²	確認者	STUDIOAK一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 87% (120 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 87% (120 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 87% (120 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	周囲に似たような建物は無いが、大阪府の景観条例に即した建築物計画となっている。	その他 特に無し
Q1 室内環境	居室の快適性を保つため、昼光率を高くしたり開閉可能な窓面積を増やすことで居室内の採光が充分できるような設計になっている。	Q3 室外環境(敷地内) 限られた敷地内で緑化をなるべく増やすように努めている。また、周囲からの景観が良好になるように配慮した設計となっている。
LR1 エネルギー	建築外皮の熱負荷抑制や、設備システムの高効率化をすることで微力ながら地球温暖化抑制の取り組みを行っている。	LR3 敷地外環境 敷地内から漏れる光が敷地外に悪影響を及ぼさないようにに取り組みされている。
Q2 サービス性能	建物が良い状態をより長く維持できるような外壁仕上げ材や内装仕上げ材を採用している。	
LR2 資源・マテリアル	資源・マテリアル消費の低減のために環境に優しい材料を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0059

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	野村工務店新社屋新築計画					
	建設地	大阪府交野市星田					
	用途/区分	集合住宅 事務所 飲食店 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.6	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.7	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.8	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		